

令和3年度 第9回 政策調整会議 会議録

-
- ◆開催日時：令和3年12月6日（月） 14：00～14：30
 - ◆開催場所：第1委員会室
 - ◆出席委員：堤副市長、戎井副市長、大下教育長、西川総合政策部長、残総務部長、寺本財務部長、前田魅力創造部長
-

◆審議事項

- ・岸和田市産業振興ビジョン及び岸和田市産業振興新戦略プランの改定について

・・・・・・・・・・産業政策課⇒承認

◆審議概要

『岸和田市産業振興ビジョン及び岸和田市産業振興新戦略プランの改定について』

〈説明者〉上東産業政策課長、田中担当長

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈堤副市長〉「木材コンビナートをはじめとする臨海部の基盤整備を推進し、大阪・関西万博といった社会潮流に対応するため、この時期に本計画を改定する」ということを明確にすること。「力強く未来を拓く産業創造都市」を創造することを市の内外に打ち出し、新しい取組をスタートすることを明確にする必要がある。時機を逸し、岸和田市だけが乗り遅れることのないよう、産業インフラについては関係部署と連携すること。基本目標Ⅱ「時代に対応した経営支援で事業者の活性に導く」に関しては、時代のニーズを的確につかんでいく必要がある。事業者アンケートにおいて、DX対応に関しては、「DXに取り組んでいないためわからない」が32.5%あり、具体的な対策が必要。基本目標Ⅲでは「人材」について触れているが、アンケートでは、「どちらかと言えば確保できていない」「確保できていない」の合計が41%と半数近くに及ぶ。給与等の勤務条件や職場環境、職場風土、女性・高齢者の働きやすさなどが関わってくる課題であるが、女性の活躍推進のための取組では、47.7%が「取り組んでいることはない」と回答している。ほとんどの企業が創業20年を超えており、創業者が高齢化していることが考えられる。事業承継も大きな課題である。他市の事例を参考に、企業と連携しながら具体的な対策を議論してもらいたい。新産業とともに、農業・漁業といった地場産業の振興も含めうまく整理されたい。

〈戎井副市長〉産業振興ビジョンとプランを一本化しコンパクトになっているのが良い。アンケート調査の内容を十分に反映させた基本目標になっているかを改めて確認してもらいたい。新型コロナウイルス感染症の影響や今後の経営課題など、ニーズや生活様式・ラ

イフスタイルが時代ごとによって変わる。人材や設備投資等あらゆる面において変化に順応できる取組を推進できるようにすること。

- 〈産業政策課長〉新型コロナウイルス感染症について特筆はしていないが、BCP 作成の必要性の部分で整理していきたい。
- 〈戎井副市長〉岸和田市産業振興ビジョンの振り返りにおいて「施策提案を全く実施していない」ものがある。実施していない理由の書き込みが必要ではないか。また、業種ごとに文章の表現が統一されていないため、見直しをすること。
- 〈教 育 長〉本基本計画を基に関連部署が事業化していくにあたり、具体性を持った事業計画にし、実行に移してもらいたい。SDGs や脱炭素化などの課題に向け、市としてどのような施策を打ち出していか整理してもらいたい。人材の確保について、企業に任せきりにするのではなく、市としてできることを検討していくことも必要。
- 〈財 務 部 長〉事業者へのアンケートやヒアリングは実施しているが、働き手の目線も必要ではないか。事業者への支援という観点の計画という認識でよいか。
- 〈産業政策課長〉「産業振興基本計画」であるため事業者目線となっている。ただし、労働者の声を聴く必要性も感じている。
- 〈財 務 部 長〉基本理念の期間は 10 年、基本計画は 5 年ごととのことだが、後半の 5 年は前半を踏まえて策定するのか。
- 〈産業政策課長〉総合計画と都市計画マスタープランの下に産業振興基本計画が位置付けられており、個別の実施計画や拠点ごとの整備計画が今後必要になる。それらを含めて基本理念は 10 年間、基本計画については前期のみ策定している。その後、改めて後期計画を策定する。
- 〈財 務 部 長〉その時期に応じた内容に変えていくことは重要。
- 〈総合政策部長〉本計画の策定は義務付けのあるものか。
- 〈産業政策課長〉ない。
- 〈総合政策部長〉義務付けのない中、策定しているものなので、本市の策定意図が理解されるように進められたい。
- 〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり承認し、政策決定会議に付議する。

令和3年 12 月 1 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 魅力創造部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市産業振興ビジョン及び岸和田市産業振興新戦略プランの改定について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	平成 13 年に策定した岸和田市産業振興ビジョンと、平成 27 年に策定した岸和田市産業振興新戦略プラン【改定版】について、両計画を一体的に改定し、「岸和田市産業振興基本計画」として策定する。 令和4年度から 10 年間の計画として基本理念を掲げ、基本計画としては令和8年度を中間年として前期5年・後期5年の計画とする。
説明者	前田魅力創造部長 上東産業政策課長 田中商工振興担当長
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和3年度 第9回会議
付議事項	岸和田市産業振興ビジョン及び岸和田市産業振興新戦略プランの改定について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	市の産業振興に関する計画について、市民わかりやすく示す。

★総合計画上の位置付け

202010201	基本目標	II-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	ア 目標の達成に向けて、計画的な施策の推進と適正な進行管理に努める

★現状と課題

<p>岸和田市産業振興ビジョンについては、平成13年に策定後、経済状況も大きく変化しているため改定する必要がある。また、岸和田市産業振興新戦略プラン【改定版】の計画年度については、平成27年度から令和2年度までの6年間となり、計画年度が経過したことから改定が必要である(昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により改定作業が困難なため1年間延期した)。社会情勢や事業者へのアンケート・ヒアリングの結果を踏まえて、本市産業の目指すべき将来像を市民にわかりやすく示すことが必要である。</p>

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	R1年度	R2年度		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
産業振興新戦略プラン推進事業	253	225	5,989	474	474	474	474	6,000
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源	253	225	5,989	474	474	474	474
	その他							
事業費			計	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			7,896	474	474	474	474	6,000

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
有	無				

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	R1年度	R2年度	R3年度	目標値				
					R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
①									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。